

福岡県で判明した新型コロナウイルス感染症患者について

1 探知

令和2年3月28日（土）、福岡県から「新型コロナウイルス感染症患者が発生し、当該患者の行動履歴を調査したところ、広島市内に滞在歴がある。」との連絡があった。

2 概要

患者は福岡県在住の20歳代の女性で、卒業式に出席するために3月22日・23日に広島市に滞在、3月28日に新型コロナウイルス感染症の感染が確認された。患者は広島市滞在中、マスクを着用していたとのこと

3 現在の患者の状況

現在、福岡県内の感染症指定医療機関で入院治療中

4 行動履歴

(1) 宿泊施設A

3月22日（日）に宿泊。従業員や他の利用者との接触はなく、濃厚接触者に該当する者はいなかった。

(2) 美容施設B

3月23日（月）に利用。患者の接客をした従業員は1名のみで、当該者を濃厚接触者と判断し、衛生研究所によるPCR検査を実施する予定である。（後日、検査結果を情報提供予定）

保健センターからは、同1名に対し、4月6日まで、健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

(3) 教育施設C

3月23日（月）に卒業式に出席。保健センターからの当該教育施設への問い合わせに対し、卒業式の時間は約15分間で、その間、会場の窓は全て開放され、参加者は全員がマスクを着用し、参加者同士の間隔も空けられていたことなどの回答があった。このため、濃厚接触者に該当するものはないと判断した。

(4) 移動手段

自家用車で移動。公共交通機関の利用はない。

5 現在の対応状況

福岡県と連携し、市内の立ち寄り先及び濃厚接触者について、引き続き調査を実施する。新たな濃厚接触者が確認された場合、速やかに健康観察を実施するとともに、不要不急の外出自粛の要請を行う。また、必要に応じてPCR検査を行う。